

多様な人々が安心して暮らせる「社会的包摂力」あるまちを実現するために

配置計画

合理的、効率的な土地利用による明快な

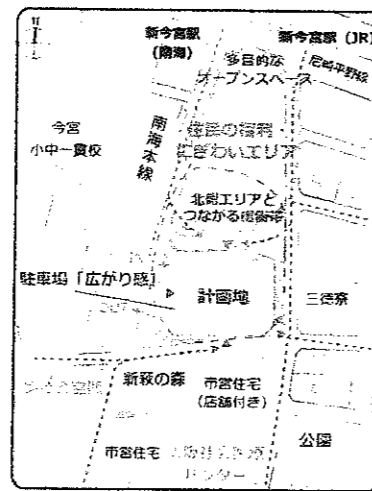
建物の軸線を東側道路に平行とし、街区の整然とした景観を誘導しつつ、空地スペースを集約して西側、北側において有効利用できるよう配置します。従前の建物と近似したフレームを採用することで地中障害物を避けやすく、合理的な架構とすることを可能にします。まちなみ沿道の連続性を確保し、安全に歩車分離を図ることで円滑な動線計画の基本とします。

周辺環境への配慮

魅力あるまちづくりのために費やされた貴重な時間や人々の思いを、連歌のように受け継ぎ、寄り添うように、合わせ空地による小さな緑地等のスペースを連続させて面的整備とします。鉄道沿線沿いにヒューマンスケールな潤いをもたらす、進入する車輛を迎え、導くような「広がり感」をもたらすようボリュームを配して西側における都市交通インフラがもたらす閉塞感を緩和します。

街区の空間的つながりを創り出す

無駄なく配置された建物が生み出された余地を北側オープンスペースとも一体利用することで、街区の空間的な繋がりを創出して不安感を払拭し、開かれた施設を体現します。



凡例: ▲ 新設出入口 ▲ 植栽帯 ▲ 主動線 ▲ 車両動線

配置イメージ図

配置上の留意点

- 敷地周辺には2.5mの壁面後退を確保し、そのうち2mは、歩行者空間として確保し南西部コーナーの歩道部を開放的に広く確保します。
- 地下埋設物を考慮し、敷地東側に建物、西側に駐車場を配置します。
- 建物への出入口については、東西南北からの4方向を確保するとともに、北側に想定される多目的なオープンスペースと緑地や植栽などでつながりを持たせます。
- 車両アクセスは、西側からとして、入口と出口を分けて安全性に配慮します。

環境配慮

魅力ある都市環境の創出・環境的、社会的、経済的課題を包括する持続可能な都市緑化

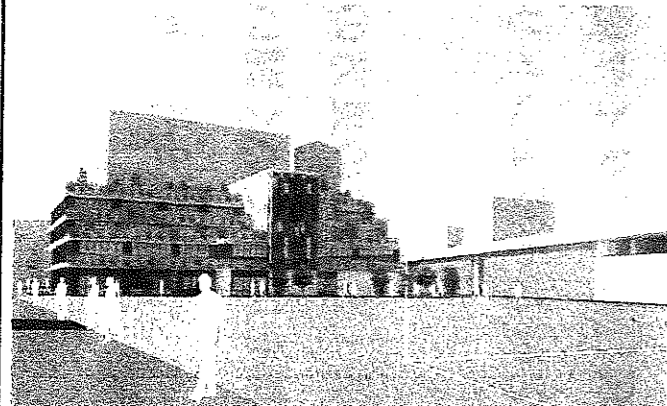
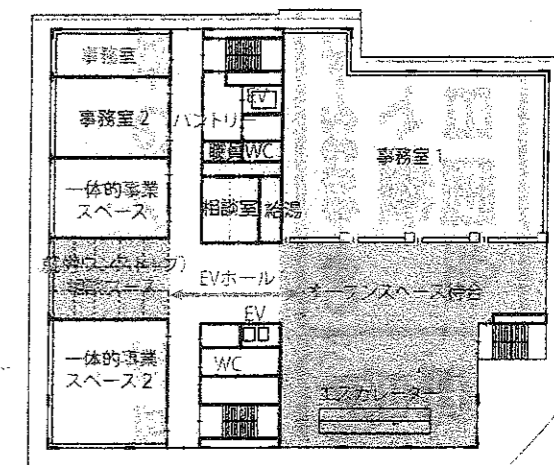
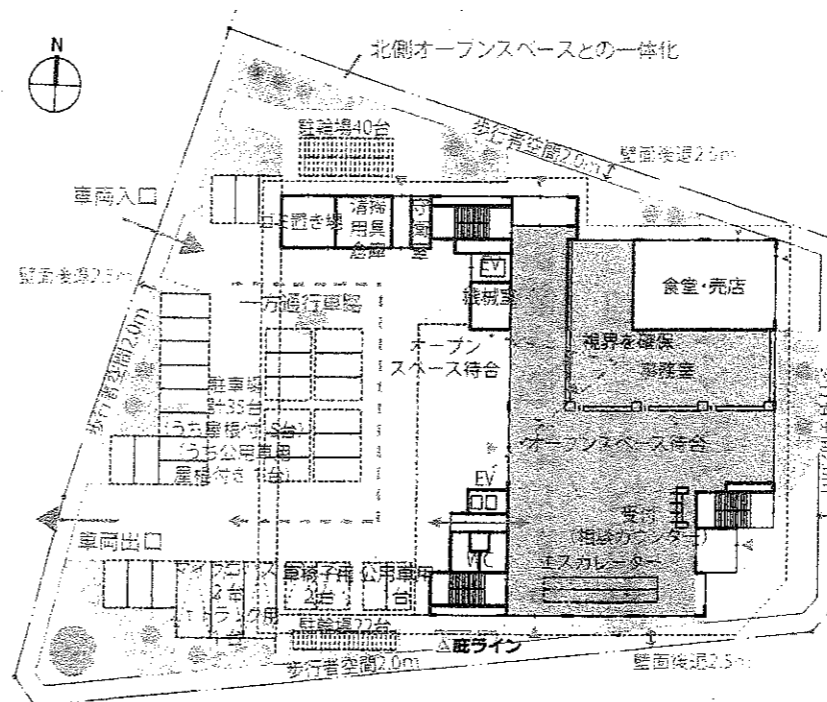
地域および施設環境の向上のため施設全体に点・線・面的な緑を広場・街路から建物、室内へと視覚的、有機的に連続させます。CO2削減とヒートアイランド対策、安らぎや潤いの創出、生物多様性の理解、コミュニティ育成、景観アメニティの向上を図るため、樹木を資産として捉え、維持管理、更新に配慮した整備により、腐朽・倒木、落ち葉や枝の落下、病虫害駆除、樹木の成長への対応などにもなる維持管理費の課題を視野に入れた計画とします。断熱・遮熱性能の向上による快適性と省エネ効果を実現するための、安全で合理的、経済的な保守管理方法の構築、雨水利用による灌漑、保水機能(地下水の涵養、緊急時の雑用水、都市洪水抑制)の対応など循環型社会構築の理念に基づく計画とします。

施設利用計画

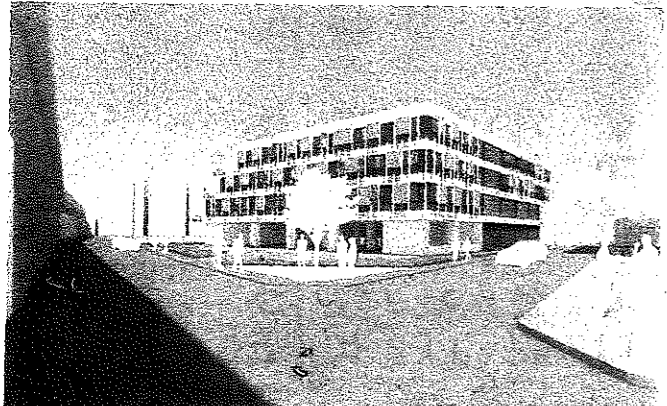
分かりやすいゾーニングと空間構成へ親しみやすく開かれた施設

多機能が複合的に構成される施設において、初めての利用者にも分かりやすく、目的の場所に迷うことなくたどり着ける明解な空間構成として、親しみを醸成します。西側の駐車場アプローチを受けるホール部分を外部状況の異なる南北に貫き、各階共通の中心軸に位置づけることで、方向と居場所を分かりやすくし避難動線の安全性を高め、相談カウンターなどと結びます。四方から来館する利用者をそれぞれ明確な特徴を持った出入口で迎え、南北に駐輪場を配置します。北側の広場と東側道路に面した街区の中央に位置する建物コーナー部に食堂・売店を配して、利用者と近隣住民の利便性に配慮した空間構成とします。

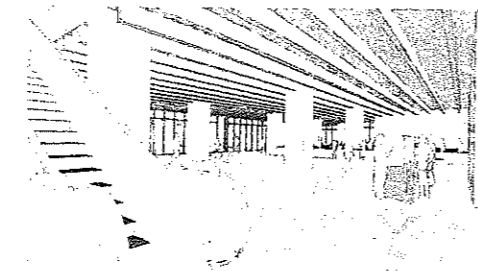
円滑な利用を可能にする機能的な平面計画



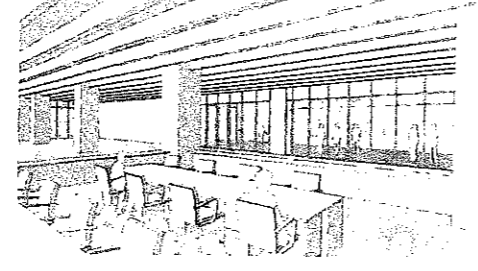
あいりん労働福祉センターのセットバックする屋上緑化が、北側からのアプローチのアイキャッチとなる



敷地南西の緑地等のオープンスペースが、鉄道沿線沿いに「広がり感」をもたらす

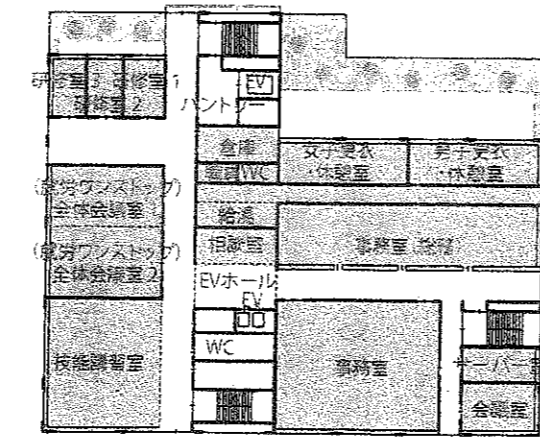


東側玄関から1階オープンスペース待合、2階へつながるエスカレーターを見る
1階受付(相談カウンター)は、インテーク窓口として最初の問い合わせ・相談に対応します。カウンター中央部にパーティションを設置してプライバシーに配慮した対応ができるようにします。

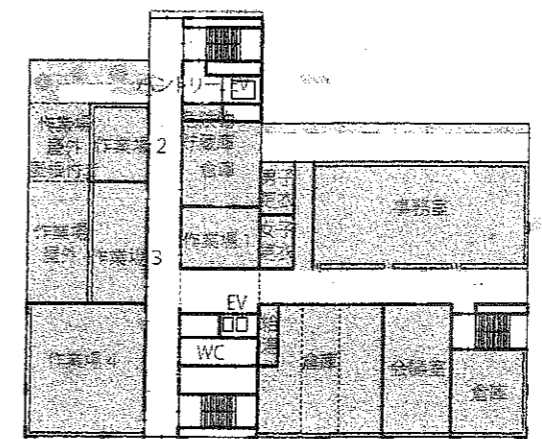


1階事務室からオープンスペース待合側を見る
早朝の待合利用ピーク時の跡もオープンスペース待合の様子が、事務室から一望できます。

- 1階:** 国、府共同利用オープンスペース待合、西成労働福祉センター、食堂・売店
- 東西南北の四方向に出入口を配置して、オープンスペース待合へアプローチしやすくします。
 - 駐車場は、西側道路からの出入りとして、入口と出口をそれぞれ分かりやすくした一方通行の車路とします。
 - 一般来所者用及び求人活動用の駐車場として、34台(マイクロバス用2台、2tトラック用1台を含む)以上を確保し、うち屋根付きを15台確保します。公用車用の駐車場については、屋根付きで1台を確保します。
 - 1階オープンスペース待合には、共用の受付を設置し、最初に問い合わせや相談に応じるインテーク窓口を設置します。
 - トイレは外側のオープンスペース待合側からも利用可能にします。
 - 1階労働福祉センター事務室は、オープンスペース待合側への視界が確保できるように配置します。
 - 食堂売店は、北東角に配置し、北側に想定される多目的なオープンスペース側からも利用しやすいようにします。

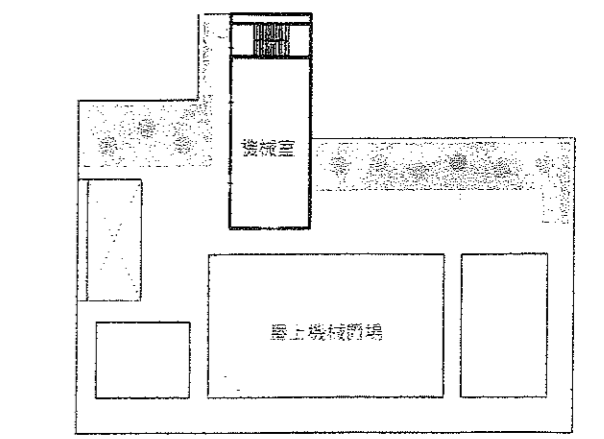


- 3階:** 西成労働福祉センター、国、府共用(就労ワンストップサービス機能)全体会議室
- 全体会議室1,2、労働福祉センターの技能講習室、研修室1,2,3、相談室を西側に、労働福祉センター事務室諸室を、東側に配置し、利用者にわかりやすい構成とします。



- 4階:** 就業支援センター
- 利用者にわかりやすいよう作業場を西側に、事務室・会議室・倉庫を東側に配置します。

- 2階:** 国、府共同利用オープンスペース待合及び就労ワンストップサービス機能、あいりん労働公共職業安定所、年金事務所健康保険窓口
- 1階と2階のオープンスペース待合を、エスカレーターでつなぎ、わかりやすく移動しやすい場所とします。
 - エレベータホールを介してオープンスペース待合と就労ワンストップサービスの相談ブースを配し、国と府で共用します。



- 凡例**
- 西成労働福祉センター
 - あいりん労働公共職業安定所
 - 年金事務所健康保険窓口
 - 就業支援センター
 - 国・府共同利用
 - その他
 - 共用
 - 植栽帯・屋上緑化